

語りがたきものにも触れて

クロストーク
語りがたきものに触れて
at 福島県立博物館

2018.2.15 thu
13:30 - 15:00
福島県立博物館講堂

久保田翠 × 小松理虔 × 赤坂憲雄

認定 NPO 法人
クリエイティブサポートレッツ理事長

UDOK. / ヘキレキ舎主宰

福島県立博物館長 /
はま・なか・あいづ文化連携
プロジェクト実行委員会委員長

平成 29 年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト 2017



語りがたき ものに 触れて

at 福島県立博物館
2018.2.15 thu

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、東日本大震災後、2012年から6年間にわたり、文化芸術の力で福島県内外の諸地域、団体、人々と連携し、あらたな関係を生み出すこと、福島の状態を発信することを目的として活動を行ってきました。

震災から7年、福島の状態は復興が進む一方、今なお横たわる複雑な課題が見えてきます。

今回のトークイベントでは、こうした複雑な課題をはま・なか・あいづ文化連携プロジェクトに協力者として関わったお二人、久保田翠さん、小松理虔さんとともに考えたいと思います。久保田さんは福祉と文化芸術から、小松さんは地域にこだわる文化発信から既成の枠組みをゆるやかに拡張する試みを続けています。お二人の柔軟な思考から福島の復興が学ぶ点は多いはずです。

第1部 13:30-14:15
対談「レッツとUDOK.」
久保田翠 × 小松理虔

第2部 14:15-15:00
クロストーク「語りがたきものに触れて」
久保田翠 × 小松理虔 × 赤坂憲雄
モデレーター 川延安直 (福島県立博物館専門学芸員)

会場 福島県立博物館講堂

主催 はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

入場無料

申込不要



久保田翠 Midori Kubota

静岡県浜松市在住。東京芸術大学大学院卒業後、建築設計の仕事に従事。障害のある長男の出産を機に、2000年に認定 NPO 法人クリエイティブサポートレッツ設立。2008年より、個人を文化創造の拠点とする「たけし文化センター事業」をスタート。2010年、障害施設アルスノヴァを設立。2014年、誰もが利用できる私設公民館「のゝあ公民館」開設。



福島県いわき市生まれ。報道記者、雑誌編集者、かまぼこメーカー勤務などを経て現在はフリー。同市内でオルタナティブスペース「UDOK.」を主宰し地域に根ざした様々な活動を行っている。共著に『常磐線中心主義』（河出書房新社）。思想家の東浩紀が代表を務めるゲンロンから来春、初の単著を刊行予定。



小松理虔 Riken Komatsu

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト
福島県は、太平洋側から南北の境界線で浜通り、中通り、会津地方にわかれ、3つの地方はそれぞれ異なった風土や文化をもっています。

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、2012年度から、福島県内の団体と福島県立博物館が連携して行っているアートプロジェクトです。

詳しくはこちら→hamanakaaiizu.jp

【お問合せ】

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会事務局

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25

TEL 0242-28-6000 (福島県立博物館代表)

FAX 0242-28-5986 (福島県立博物館内)

*毎週月曜日、祝日の翌日は休業。

*はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト Web ページのお問合せフォームもご利用ください。